

平成19年6月8日

九州フォーミング株式会社

第35期

(平成18年4月1日から平成19年3月31日)

貸借対照表 注記表

貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	269,916	流 動 負 債	306,946
現金及び預金	212	支払手形	71,354
受取手形	24,399	買掛金	133,850
売掛金	210,753	短期借入金	5,786
原材料	723	未払金	57,606
仕掛品	26,220	未払費用	14,193
貯蔵品	1,262	未払法人税等	7,019
前払費用	1,500	未払消費税	2,945
繰延税金資産	6,199	賞与引当金	12,936
その他の流動資産	20	預り金	1,253
貸倒引当金	1,374		
固 定 資 産	217,304	固 定 負 債	52,078
有形固定資産	180,290	退職給付引当金	26,158
建築物	101,760	その他の固定負債	25,920
構築物	7,945		
機械装置	33,519	負債合計	359,025
車両運搬具	29	(純資産の部)	
工具器具備品	4,651	株主資本	128,195
土地	32,383	資本金	30,000
投資その他の資産	37,013	利益剰余金	98,195
繰延税金資産	19,016	利益準備金	5,850
その他の投資等	17,997	その他利益剰余金	92,345
		繰越利益剰余金	92,345
		純資産合計	128,195
資産合計	487,220	負債・純資産合計	487,220

(記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。)

(注) 当期純利益

18,922千円

注記表

1. 重要な会計方針

当事業年度から会計計算規則に基づき計算書類を作成しております。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料及び半製品は総平均法、貯蔵品、仕掛品は個別法による。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法

無形固定資産 定額法

(3) 引当金の計上方法

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を勘案して、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(5) 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(6) 重要な会計方針の変更

当事業年度より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第5号 平成17年12月9日）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日）を適用しております。従来の資本の部の合計に相当する金額は128,195千円であります。

2. その他の注記

有形固定資産の減価償却累計額 358,592千円